



★「だまされない」シリーズその5
「しっかりと見て投票しよう」

― 参議院選挙、人と政党の選び方 ―

「隠されている本音を見抜こう」

◇先月、私達は「政権は選挙では本当にやりたいことは隠しておく」と注意をうながしました。

◇「憲法を改正して戦争が出来るようにしたい」、「消費税は上げたい」、「格差が増大しても富裕層を優遇したい」、「辺野古に基地を作りたい」、「原発は再稼働したい」・・・これらは国民には評判の悪い政策なので選挙中は表に出さない、あるいは目立たないようにされます。

◇しかし、選挙が終わると、これらの政策は一挙に出てくるでしょう。選挙中、隠されている本音は何か、これをしっかりと見ようではありませんか。

生活優先は分かります。しかし日本の将来も考えよう

◇直近の新聞の世論調査によると、投票先を決めるとき重視する政策は何かと聞かれて、経済政策がトップに来ており、日本の将来の安全や憲法改正の問題は下位になっています。

◇現在の生活が苦しいので、それはよくわかります。しかし、生活や福祉が良くなっても、もし将来戦争になったら、それらはみな吹っ飛んでしまいます。日本の将来、若者の将来がどうなるかもしっかりと見ようではありませんか。

若者のみなさん、とにかく投票に行こう！

◇消費税増税が見送りになっても高齢者に生活給付金が支給されます。選挙のためのばらまきですが、それはお年寄りには投票に行く人が多いからです。

◇政権を取った党は、どの年齢層が投票に行ったかをよく調べています。若者が選挙に行かなければ、あなたのしてほしいことは後回しにされます。

◇選ぶ人がいないから投票に行かないと言う人もいます。だったら、「戦争につながる安保法に賛成した候補者と政党は選ばない」という分かりやすい選択肢で考えて見て下さい。

◇今年から投票年齢が一八歳まで引き下げられます。若者の皆さん、せっかくのチャンスです。是非選挙に行きましょう。

二〇一六年六月十二日（日）護憲平和行進（通算592回目）

★ 浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
毎月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

日本国憲法第九條

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。